

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成29年2月16日 (2017.2.16)

【公表番号】特表2016-515533(P2016-515533A)

【公表日】平成28年5月30日 (2016.5.30)

【年通号数】公開・登録公報2016-033

【出願番号】特願2016-503416(P2016-503416)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/495	(2006.01)
A 6 1 K	35/32	(2015.01)
A 6 1 K	35/30	(2015.01)
A 6 1 K	35/12	(2015.01)
A 6 1 K	47/18	(2006.01)
A 6 1 K	47/14	(2006.01)
A 6 1 K	47/12	(2006.01)
A 6 1 K	47/42	(2017.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	19/04	(2006.01)
A 6 1 P	19/00	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	25/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 1 2 N	5/0775	(2010.01)
C 1 2 N	5/00	(2006.01)
A 6 1 L	27/00	(2006.01)
A 6 1 L	29/00	(2006.01)
A 6 1 L	31/00	(2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K	31/495	
A 6 1 K	35/32	
A 6 1 K	35/30	
A 6 1 K	35/12	
A 6 1 K	47/18	
A 6 1 K	47/14	
A 6 1 K	47/12	
A 6 1 K	47/42	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	19/04	
A 6 1 P	19/00	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 P	43/00	1 1 1
C 1 2 N	5/0775	
C 1 2 N	5/00	
A 6 1 L	27/00	V
A 6 1 L	27/00	U
A 6 1 L	27/00	F
A 6 1 L	27/00	Z

A 6 1 L	29/00	Z
A 6 1 L	31/00	Z
A 6 1 L	27/00	D
A 6 1 L	27/00	E

【手続補正書】

【提出日】平成29年1月12日(2017.1.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象における幹細胞の動員、幹細胞のホーミング、幹細胞の増殖、幹細胞の分化からなる群から選択される効果を生じさせるために使用する医薬組成物であって、D A - D K P を含む医薬組成物。

【請求項 2】

前記医薬組成物が、N - アセチルトリプトファン、カプリル酸エステルおよびカプリル酸のうちの少なくとも1つをさらに含んでなる請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

前記医薬組成物が、ヒト血清アルブミンの低分子量フラクションを含み、実質的に全てのアルブミンが前記フラクションから除去されている請求項 1 または請求項 2 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

前記ヒト血清アルブミンの低分子量フラクションが、ろ過によって産出される請求項 3 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

前記 D A - D K P が、関節、手術部位、体節骨格間隙または偽関節骨折の部位、外傷、潰瘍、および炎症性皮膚発疹からなる群から選択される局所的投与の部位にて前記対象に局所的に投与される請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

前記 D A - D K P が、スポンジ、生体適合性ポリマー、生体侵食性ポリマー、パテ、ゲル、骨基質、人工骨基質、ボルト、ねじ、気管内挿入管、ステント、コンタクトレンズ、ペースメーカー、中心静脈内チューブ、フォーリーカテーテル、および頭蓋内デバイスから選択される移植可能なデバイスの一部として、または前記デバイス上に製剤化される請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

D A - D K P の投与が、C X C R 4、M M P 1 4、M M P 1 3、アグレカン、S D F 1、コラーゲン 2 A 1 およびそれらの組み合わせからなる群から選択される化合物の産生を増加させる請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

D A - D K P の投与が、C X C L 1 2、M A P K - 活性化タンパク質キナーゼ 3、ベータ - アドレナリン作動性受容体キナーゼ 1、トロンボドボンジン I 型モチーフを伴う A D A M - メタロペプチダーゼ、M A P K - 活性化タンパク質キナーゼ 2、C - S r c キナーゼ、マクロファージスカベンジャー受容体、ノギン、チロシンキナーゼブルトン、グリコーゲンシンターゼキナーゼ - 3 アルファ / ベータ、グリコーゲンシンターゼキナーゼ - 3 アルファ / ベータ、H S P 9 0 アルファ / ベータ、H S P 9 0 アルファ / ベータ、ホスホイノシチド - 3 - キナーゼ、触媒サブユニットアルファ、および真核細胞翻訳開始因子 4 A、繊維芽細胞成長因子 1 7 ならびにそれらの組み合わせからなる群から選択されるタンパ

ク質の産生を減少させる請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

DA - DKP の投与が、クラステリン（アポリポタンパク質 J）、プロトロンビン、C1QBP（ヒアルロナン結合タンパク質 1）、TNFSF15（VEGF 阻害剤）、マンマグロビン 2、MIP3b（CCL19）、MCP1（CCL2）、PTHrP、スポンジン 1、エラフィン（エラストーゼ阻害剤）、IL11、NPS-PLA2、CFC1（潜在性タンパク質）、テストカン 1（SPOCK1）、アンジオゲニン、URB、MMP-3、IP10（CXCL10）、BSSP4、IL8（CXCL8）、RSP02、シスタチン C、bFGF、因子 H、凝固因子 IX、SDF-1（CXCL12）、CATC（ジペプチジルペプチダーゼ 1）、PIGR、Ck-b-8-1（MPIF1 スプライス変種）、C1s、EMR2、ART、DPP2、SAA、TIMP-1、セマフォリン 3A、およびそれらの組み合わせからなる群から選択されるタンパク質の産生を増加させる請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

DA - DKP の投与が、対象における Akt 経路をダウンレギュレートする請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

対象において軟骨形成を刺激するために使用される医薬組成物であって、DA - DKP ならびに N - アセチルトリプトファン、カプリル酸エステル、カプリル酸およびそれらの組み合わせからなる群から選択される成分を含む医薬組成物。

【請求項 12】

前記軟骨形成が、哺乳動物における軟骨形成疾患を治療するか、または改善させる請求項 11 に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

前記効果は、それを必要とする対象の組織の刺激を含み、前記組織が、神経系組織、脂肪組織、肝臓組織、平滑筋組織、横紋筋組織、心筋組織、骨組織、骨海綿組織、軟骨組織、腓管組織、脾臓組織、胸腺組織、扁桃腺組織、パイエル板組織、リンパ節組織、甲状腺組織、表皮組織、真皮組織、皮下組織、心組織、肺組織、血管組織、内皮組織、血液細胞、膀胱組織、腎組織、消化管組織、食道組織、胃組織、小腸組織、大腸組織、脂肪組織、子宮組織、眼組織、肺組織、精巣組織、卵巣組織、前立腺組織、結合組織、内分泌組織、腸間膜組織、およびそれらの組み合わせからなる群から選択される請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

DA - DKP を含む培地添加物を有する無血清培地中に幹細胞を含む組成物であって、前記添加物が添加された細胞培養培地は幹細胞の増殖を支持することが可能である、組成物。

【請求項 15】

幹細胞を対象に提供する方法であって、（a）幹細胞に DA - DKP を接触させること、（b）前記幹細胞の増殖を促すのに好適な条件下で前記幹細胞を培養すること、（c）前記幹細胞の分化を誘導して別の細胞型を形成させるために、任意選択にて 1 つ以上の分化因子を添加すること、または培養条件を変えること、および（d）細胞を対象に導入すること、を含む方法。